

金山駅 北地区の 駅前空間 から まちを 考える



金山アスナルの様子より①

■ JR東海道線・中央線、名鉄本線・常滑線、地下鉄名城線・名港線が乗り入れる金山駅エリアは、線路上に大きな橋のような総合駅舎がかかり、南北の都市空間をダイナミックに繋いでいます。駅北側には複合商業施設「アスナル金山」を中心とした駅前空間が広がり、金山駅北地区のまちの中心を形成する重要なハブとして機能しています。

■ 実はアスナル金山は、もともと2020年までの期間限定の都市開発による建築でした。現在2028年まで存続が宣言されていますが、それはアスナル金山が、駅前空間の都市の発展に寄与してきたことも理由に挙げられます。金山に育まれてきた都市の魅力を見出しながら、この建築物が果たしてきた役割を再考することを起点に、5年後の2028年以降の駅前空間、そこから広がる豊かな都市空間をつくっていく提案を募集します。建築に注力した提案、外部公共空間や公園的な提案、いずれも構いません。更に広がる金山の地域全体について提案をしても良いでしょう。ウォーカーブルな都市、文化ゾーンとしての発展、既存の都市軸や景観への接続など、さまざまな観点からの提案をお待ちしています。



金山駅周辺の鳥瞰図

提出日 | 2023年12月4日(月)

【パネル】14:00 - 17:00のあいだに会場「名古屋都市センター11Fまちづくり広場」に作品持込・会場設営

【データ】17:00までに aichiarchcomp@gmail.com (日本福祉大学 坂口) に送付

※指定された期日以外には持ち込みできません。

● 審査委員

1次審査：建築系愛知14大学共同企画展参加大学教員

2次審査：西村浩（建築家・ワークビジョンズ）・加藤義人（名古屋都市センター特任アドバイザー）

田中良知（金山駅前まちそだて会）・前川滋美（名古屋市まちづくり企画課）

● 参加資格—— 建築・まちづくりを志す学生（大学生／大学院生／高校生／高専生／専門学校生）。複数人でのグループ、研究室単位での応募も可。教員の指導を受けたものも応募可。事前エントリーを11月1日(水)までに「1. 氏名/2. 所属する学校名/3. 学年/4. メールアドレス」を明記して事務局までメールをすること。また応募者は12月10日(日)の公開審査に参加できること。

● 提出物—— 以下の条件をA1サイズ1枚にまとめて、指定した日時に展示会場に持ち込み展示をすること。またそのPDFデータを指定されたメールアドレスまで提出すること。（ポスター最下部に記載）

- ・A1サイズ横使いとして、紙質は自由とするが5mm厚のスチレンボード貼りとする。
- ・表面右上に横3cm×縦2cmの欄を設け、エントリーナンバーを記載すること。
- ・データが重い場合はギガファイル便などのファイル転送サービスを利用すること。
- ・メールの件名に「建築系愛知14大学共同企画展・設計競技」、本文に「学校名・氏名」を必ず入れること。
- ・模型の提出は任意とするが、サイズはA1程度とすること。

● 参考WEBサイト——「名古屋市ホームページ金山地区」で検索

● エントリーした学生に対しては、アスナル金山についての図面資料を資料を提供します。

最優秀賞 10万円
優秀賞 1万円 (5点)



金山アスナルの様子より②